



ピースでエコで、
フェアで
フェミな社会へ

とき 「時代を語る」

いま、私たちはどこにいますか

辻元 清美（衆議院議員）



イラク最前線で見えてきたこと
西谷文和(フリージャーナリスト)

バクダットの「核・放射能病院」。ウラン弾の犠牲者と思われるガン患者がここへ1日70人もやってくる。写真は被爆2世のガフィル君。

★5階ホールで戦争と平和に関するパネル展示も準備しています。

4月1日(土) 開場1:30～ 開始 PM2:00～4:00

茨木市福祉文化会館 5階ホール (豪華)資料代 499円

主催 元気市民(桂むつ子・小林美智子・山下けいき)/ピースアクション

連絡先・山下(072-635-6680/keiki@crocus.ocn.ne.jp)

いのちと平和の憲法を活かそう

額に汗して働くよりもマネーゲームで金もうけすることが持ち上げられる社会。勝ち組、負け組、競争はあたりまえの格差社会。そんな弱肉強食の動物世界が人間の社会でも当然のようになっていきます。

昨年、107名の死者を出したJR宝塚線の脱線事故、耐震構造の偽装事件はこのような規制緩和、企業間競争の中で人命よりも利益追求を優先した結果にほかなりません。

一方で政府は平和憲法を変えて、ブッシュ大統領のいうままに、自衛隊を米軍の下請けにして、戦争ができる国づくりを進めています。そのために非核三原則を無視して、横須賀に原子力空母の配置を決め、沖縄にある米軍基地をアメリカのグアム島に移転するための費用1兆円も日本が負担すると伝えられています。

私たちが大切にしてきた平和、民主主義、基本的人権は、歴代自民党政権によって盗聴法、国民総背番号制、国民を戦争に総動員する有事法によって次々と奪われてきました。

今度の国会には、実行しなくても話ただけで罪に問われる共謀罪も提出されようとしています。靖国参拝に見られる戦争への無反省と国民を国家（時の権力者）の下におく考えこそ、平和憲法を改悪する背景に他なりません。

私たちは9条や25条など人類史で最も先進的な平和憲法を誇りに思っています。このいのちと平和の憲法を活かし広げて、アジアで、世界で貢献できる国をめざしましょう。

4月1日（土）に「戦争はいらん。ピースでエコで、フェアでフェミな社会へ」をテーマに活動されている辻元清美衆議院議員や、イラクの子どもを救う会代表でイラクにたびたび足を運んでいる吹田市職員の西谷文和さんのお話を聞くイベントを行います。

皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。



絶望から希望へ

不満足で不公平感の強い社会から
ピースでエコで、フェアでフェミな社会へ。
戦争はいらん。
憎悪とむき出しの世の中、
「寒流」の世の中は嫌や。

そこそこ暮らせて、
年をとってもボチボチやれる、
「暖流」の世の中、
そんな政治を自分の住んでいる地域から！